

新会社の運営に係るコストモデルについて

《予想損益 積算にあたっての前提条件》

- 第1期末の予想損益を概算ベースで作成した。
- 環境事業センターの数（11カ所）を前提に11社の新会社を設立するとした場合、1社あたり160人規模（ $\div 1,700$ 人 $\div 11$ 社）を想定して作成した。
- 業務量（ごみ量・分別収集品目等）については、平成24年度分がそのまま推移した場合により積算した。
- 機材数・物件費については、160人規模の事業所を基準に積算した。
- 運転資金の収支がマイナスとならないように調整した場合の額を計上した。
（委託料額＝売上高＋消費税）
- 車両については、大阪市から新会社へ売却する想定で積算した。

《予想損益の積算方法と概算額》

（単位：億円）

項目	前提条件等	額	
①売上高	◆ 運転資金の収支が、期末にマイナスとならないように調整した場合の額を計上 （委託料から消費税を差し引いた額）	15.2	
②売上原価	人件費	◆ 160名で積算 ◆ 平成23年度のごみ収集輸送業務に従事する技能職員の1人あたり人件費決算額に 人数を乗じて積算	12.7
	物件費（ランニングコスト）	◆ 平成23年度決算額をもとに積算 《積算項目》 消耗品費、被服費、燃料費、光熱水費（工業用水）、損害保険料、賠償金、 車両維持管理費 ◆ ただし、燃料費については平成23年度の使用量実績に市場価格（資源エネルギー庁 石油製品価格調査）を乗じて算出	0.4
	減価償却費（車両）	◆ 使用車両60台について、耐用年数を6年と仮定して、6年使用後に同型、同価格の 新型車に更新することとして積算 ◆ 車両購入価格は2.4億円で想定	0.4
	使用料（駐車場等）	◆ 駐車場、洗車場、整備棟の使用料合計 ◆ 「行政財産使用料算定基準」をもとに算出した月額使用料単価に、使用面積を 乗じて積算 ◆ 駐車場使用面積は、車両台数分（60台）のみを賃借することとし積算	0.3
③売上総利益	◆ ①－②	1.4	
④販売管理費	人件費（管理部門）	◆ 新会社に必要な管理部門として、6名を想定 ◆ 平成23年度の行政職員の1人あたり人件費決算額に人数を乗じて積算	0.5
	使用料（事務所等）	◆ 事務所棟（駐車場除く）の使用料合計 ◆ 「行政財産使用料算定基準」をもとに算出した月額使用料単価に、使用床面積を 乗じて積算	0.5
	その他一般管理費	◆ 平成23年度決算額をもとに積算 《積算項目》 旅費、光熱水費（工業用水除く）、建物修繕費、備品修繕料、通信運搬費、 手数料、委託料（庁舎清掃関係）、使用料、庁用器具費等	0.4
⑤営業利益	◆ ③－④	0.0	
⑥営業外損益	◆ 借入金（長期、短期）の期末残高に利率3%を乗じて算出	（若干）	
⑦経常利益	◆ ⑤－⑥	－	
⑧法人税等	◆ ⑦に実行税率38%を乗じて算出し、⑦がマイナスの場合はその期の税はゼロ	－	
⑨当期利益	◆ ⑦－⑧	－	

（注）数値は百万円位を四捨五入のため、若干の誤差がある。

《予想貸借対照表（概算）・予想キャッシュフロー計算書（概算） 積算にあたっての前提条件》

- 資本金は、5,000万円とした。
- 車両購入費の約2.4億円については、長期借入により賄うこととした。

★予想貸借対照表（概算）

（単位：億円）

（資産の部）		（負債の部）	
現金預金	（若干）	⑫支払手形・買掛金	1.3
⑩売掛金・未収入金	1.3	短期借入金	0.0
⑪棚卸資産	0.0	未払法人税	0.0
固定資産（車両残存価格）	2.0	長期借入金等	1.5
固定預金	0.0	⑬負債合計	2.8
		（資本の部）	
		資本金	0.5
		内部留保	
		⑭資本合計	0.5
資産合計	3.3	負債・資本合計（⑬+⑭）	3.3

運転資金の収支（⑩+⑪-⑫）	0.0
----------------	-----

★予想キャッシュ・フロー計算書（概算）

（単位：億円）

事項	額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	
減価償却費	0.4
売上債権増加高	▲ 1.3
棚卸資産増加高	
仕入債務増加高	1.3
法人税等の支払	
⑮小計	0.4
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定預金預入	
固定資産取得	▲ 2.4
⑯小計	▲ 2.4
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
借入金増加高	1.5
借入金返済支出	
株式発行収入	
配当支払	
⑰小計	1.5
IV ⑱現金及び現金等価物増加高（⑮+⑯+⑰）	▲ 0.5
V ⑲現金及び現金等価物期首残高	0.5
VI ⑳現金及び現金等価物期末残高（⑱+⑲）	0.0

（注1）数値は百万円位を四捨五入のため、若干の誤差がある。

（注2）キャッシュ・フロー表の現在期末残高貸借対照表の現金預金との差異は四捨五入による誤差